

## 令和6年度 第2回 大阪市立三先幼稚園 学校協議会 実施報告

園名 大阪市立三先幼稚園  
園長名 \_\_\_\_\_

|      |   |   |
|------|---|---|
| 日 時  | 令和6年12月9日(月)  |   |
| 場 所  | 大阪市立三先幼稚園 リズム室  |   |
| 出席者  | 委員など  | 委員 6名   |
|      | 校園  | 園長・主任   |
|      | 区役所   | 大阪市港区役所 協働まちづくり推進課 1名   |
| 議題   | (1) 令和6年度 三先幼稚園「運営に関する計画」(中間評価)について   |   |
| 協議要旨 | 協議の結果   | 意見の概要   |
|      | (1) 令和6年度 運営に関する計画 (中間評価)について 理解を得た。  | <p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を経験する中で、子どもが怖いと言っている。これは、子ども自身が危機感を抱く大切な体験だと考える。</li> </ul> <p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真を交えたドキュメンテーションは、取組が分かりやすく、非常によいと思う。子ども自身があまり話をしない家庭では、幼稚園の取組が保護者にとって分かりやすくてよい。</li> <li>2学期から保育室降園が始まって、年長になり、保育室が2階になり、一人で保育室に入っていく年長にとっては、直接、担任と話ができる機会となってとてもよい。</li> <li>今年度からの研究の取組としての環境・自然は、命のサイクルに気づくという観点ではとてもいいが、理科的には自然ではないことを念頭に置いておく必要があると考える。</li> <li>園内の人工的な自然であっても、生の物に触れて、直接体験を五感を使って関わっていくことは、感性で動く時間として大変有意義である。幼児期はきちんとできてなくてよい、それがよい。それが、小学校以降の学習と結びついて学びとなっていく。</li> </ul> <p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HPのアクセス数が増えていることは園への興味・関心ではあるが、このご時世、リスクも高い。更新回数や閲覧数が大切なではないため、こだわることはない。文章だけでも、発信としてできる形ですればよいと考える。</li> <li>地域との交流は園だけでなく、地域のためにもなる。食事サービスでは園児との交流を地域の高齢者も大変喜んでいる。地域の一員として、互いに手を取り合って交流活動を続けていくことに期待する。</li> </ul> |
| 協議資料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2回 大阪市立三先幼稚園学校協議会について</li> <li>令和6年度「運営に関する計画」(中間報告)</li> <li>クラスの取組</li> <li>幼稚園アンケート結果</li> </ul> |   |
| 備考   | 傍聴者【0】名   |   |